【団体名】ガールスカウト愛知県第４３団
【事業名】広めよう！環境守り人の輪"プロジェクト
【事業実施期間】令和１年７月１日～令和１年９月３０日
【事業実施場所】豊田市総合野外センター
【事業内容】
タープの設営・撤営
・日差しから身を守るためにタープを張った。
野外料理
・ゴミを最小限にするため､参加者が食べられるだけの量の食材とメニューにした。
・ゴミを出さない野菜の切り方を指導した。(キャベツは芯までみじん切りにして煮込む。ジャガイモ、ニンジンはきれいに洗って、皮をむかない等)
・飯盒や鍋のすすをとるために新聞紙や砂でこすることで洗剤の使用量を最小限にした。
・食器や鍋の汚れを洗い流す前に、ゴムペラで汚れを取った。
・燃料を最小限にした。(必要以上に薪を燃やさない)
・ゴミの分別を行った。
森の冒険
・地形を利用した木製遊具(アスレチック)で楽しんだ。
・暗闇トンネルを通り、自然界での暗闇を体験した。
・木の実(どんぐり等)や木の葉を見つけ、施設職員からいろいろな木があることを教えてもらった。
・木の実を食べる小動物の食べ残しの木の実や、落とし物(糞) を発見した。
【成果・課題】
タープの設営・撤営
・日照について考えるきっかけとなった。夏の日差しは強いが植物にとっては必要なことを理解した。
・冷房に頼りがちの生活を、工夫次第で快適な空間を作ることができることを知った。
・日当たりにあった木製品と金属製品とでは熱くなり方の違いがあることを知った。
野外料理
・汚水を出さない工夫ができた。
・水を最小限に使う工夫ができた。

・限りある資源を大切にしなければならないと気づいた。

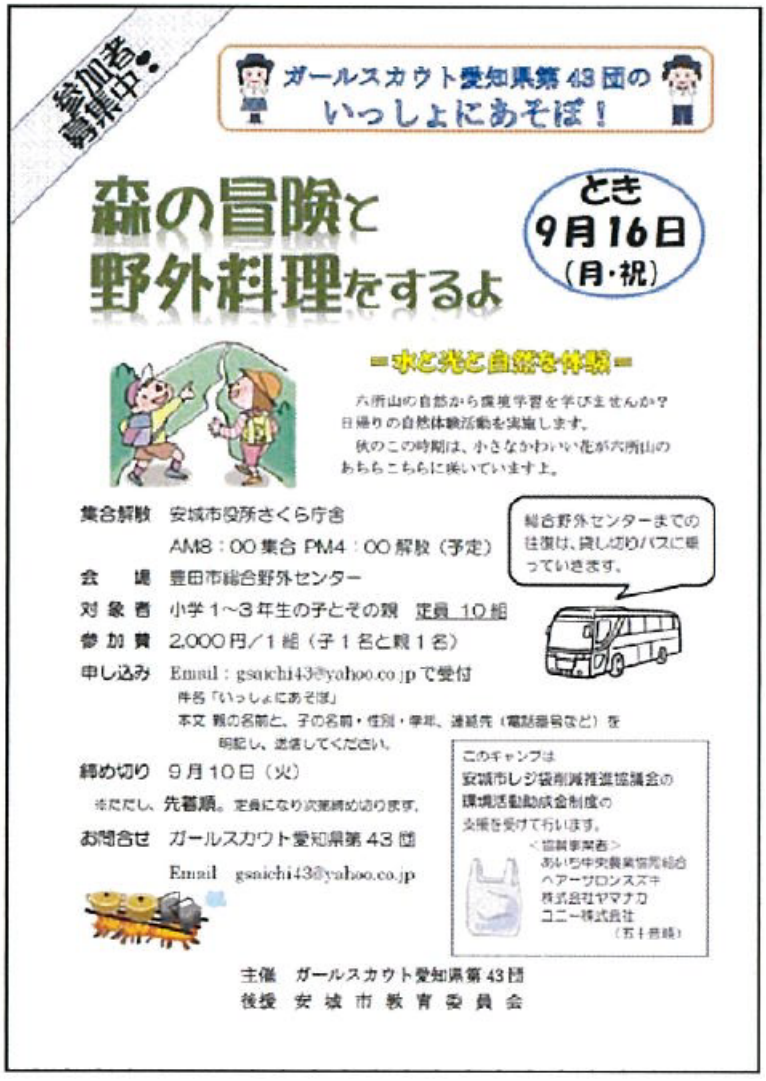
森の冒険

・バーチャルではない、本物の体験をすることで感動する子どもが多かった。

・タープを張ったり、料理を作ることで、協力する心が芽生えた。

・自然の中で遊ぶことで、やさしい気持ち(他人を思いやる気持ち)になれた。

交通手段をバスにすることで、自家用車の利用をやめた。当初、大型バスを利用し多くの方に参加してもらう予定だったが、費用の面でマイクロバスになった。教育委員会の後援もいただき、多くの方の応募があったが、お断りせざるを得なかったことが残念だった

広報ではアンフォーレで行った市民向けのイベントでポスターを展示した。

チラシを作成し、市内小学校には募集対象の学年の児童一人ひとりに学校から配布してもらった。各公民館等、子どもが遊びに来る施設にも置いてもらった。